

部会・委員会だより

介護部



部長

倉橋 健司

訪問型Cへの取り組み

愛知県との3年がかりの交渉の末、「訪問型サービスC」に柔道整復師が参加できると明記してもらい、8月10日には県が各市町村の担当者を集めて研修会を開催、約44億円の予算が付きしました。そして、9月26日に横井元名古屋市議会議員の仲介で会長、両副会長の3名が名古屋市役所の介護担当者に会い「訪問型サービスC」への柔道整復師の参入についてお願いをして、前向きに調査を始めるとの返事をいただきました。

愛整会では、柔道整復師も訪問介護事業の分野で有効活用できる、社会に貢献できることを世間及び行政に示したいと思っています。また、参入の実績を作るため、各市町村へ支部長及び市町村の代表会員にお願いして訪問介護への参入交渉を進めています。まだ現在は需要の少ない分野ですが、10年後、20年後の超高齢化社会に向けて柔道整復師の知識と経験を生かせる事業として参入できるよう頑張りたいと思います。

柔道部



部長

中村 太

柔道部の公益活動は、各種柔道大会の開催、柔道大会救護活動、審判講習会、柔道救護講習会の開催等、諸先輩方の築き上げられた公益社団法人としての活動を継続し、会員のご理解とご協力により成り立っています。今後、更に発展させられるように微力ながら行っていく予定です。

文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会の予選となる本会主催の第31回少年少女柔道大会は、令和4年4月17日（日）、また8月28日（日）には少年形競技会を、感染症防止対策を万全にしながら開催し、選手1名につき保護者1名の観覧席への入場を可能とし、久しぶりに賑やかな大会となりました。

愛知県柔道整復専門学校柔道大会及び本会会員柔道大会は、コロナ禍での練習不足等により開催中止となりましたが、来年度以降は開催できることを願いつつ関係各所のご協力を賜りながら進めて参りたいと思っています。

柔道大会救護活動においては、急性外傷の専門家である柔道整復師として、多くの会員に、県柔連柔道大会に救護員として参加していただいています。

また、柔道大会審判員としての資質向上、審判規定改正点、少年特別規定の細部確認などの審判講習会および、柔道大会救護員として審判規定を理解していただくための、柔道大会救護講習会を開催しています。

各支部長、各支部の柔道担当者と今後の活動について、ご理解を頂きながら、会員先生方との連携強化を図って柔道部公益事業を行っていきたく思いますので、宜しくお願いいたします。

学術部



部長

笥 芳幸

新年、明けましておめでとうございます。

平素は学術部の活動、愛整学会・東海学術大会への出席および各支部での学術研修会などの活動に、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

まだまだ続くコロナ感染症は終息する兆しが見えない中、愛整会や各支部の活動において集合して対面での行事の予定が組めない状況が続いています。学術部の活動においても本来は対面にて論文の検討会や行事の運営・進行の検討したいところではありますが、やむを得ずオンラインを使用した部会となっています。また、本年度の愛整学会も対面とZoomを使用したオンラインでの視聴によるハイブリッド形式での開催とならざるを得ませんでした。昨年の進行内容を反省し、スムーズな運営を目指したつもりだったのですが、いかがだったでしょうか？

学術部として本年度関係した行事は、令和4年7月3日（日）に第57回愛知県柔道整復学会・第96回会員研修会、10月22日・23日（土・日）に第55回東海学術大会岐阜大会、11月19日・20日（土・日）に第31回日本柔道整復接骨医学会学術大会がありました。第96回会員研修会は昨年度から新たに日整が進める骨折・脱臼の整復・固定法に対する「匠の技 伝承」プロジェクトの指導者講習会に伴い、実技指導者による会員研修会での会員への実技講習会となりました。ともに会場での対面とZoomを使用したオンラインでのハイブリッド形式での開催となり、対面での参加者が少数になりました。通常が開催ができるよう1日も早いコロナの終息を願うばかりです。

現在は第21刊愛知県柔道整復学会誌の発刊に向けて、本年度愛整学会での発表4題につ

いて検討を行っているところです。3月末には発刊を致しますので、お楽しみにして下さい。

今後ともよろしくご意見、ご指導をお願い申し上げます。

保険部



部長

山口 雅彦

日頃は柔道整復療養費取扱いに、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

コロナ感染症が未だに終息に至らず、コロナ感染症による減収、併給による不支給または減額や、頻繁に行われる不適切な受療者照会調査による受療抑制等での減収に加え、全ての物価上昇と、厳しい状況が続いています。講談社から「年収443万円」どう生きるかという本が出版されているので入手しようと思っています。

柔道整復療養費は、昭和11年各都道府県の柔道整復師会と協定を結び「委任払い」の方式がとられ現在に至っています。それから86年が経過して柔道整復療養費の取扱いはどうでしょうか？

柔道整復師法では、「医師である場合を除き、柔道整復師でなければ、業として柔道整復を行ってはならない」（柔道整復師法第15条）として業務は独占するが、柔道整復師以外のものが柔道整復師の名称を使用することを禁止する条文はないので、柔道整復師は名称を独占していない。接骨院、整骨院の名称は柔道整復師でなくても使える。例として、他県に「あかすり洗体整骨院」がありました。

←開設者が柔道整復師でないことを祈ります。

骨盤矯正、脊椎矯正、頭痛、めまい、不眠、冷え症、しびれ、肩こり、不妊症、等の標榜をよく目にしますが、柔道整復療養費に申請せず自費ならばいいのか？否、柔道整復師であるが為にできないのです。

上記のような様々な症状を捻挫、打撲に置換えての施術行為があり、「柔整療養費として申請の疑いがある」とし、厚労省から調査するよう通達があるとのことでした。

柔道整復師の業務範囲は、平成2（1990）年発刊「厚労省健康政策局医事課編著の逐条解説」には、「柔道整復師の業務は、脱臼骨折 打撲 捻挫等に対し、その回復を図る施術を業として行うものである」とされています。

「接骨院って何をするとところ？」と、わからない人が多く、「保険証を呈示していても、驚くほどの負担金」、「回数券の購入をせがまれる」、「契約するまで解放してもらえない」と消費者センターから苦情があるとの報告もあります。

毎月、月末文書にて会員の皆様に、連絡事項や注意事項等をお知らせしておりますので、必ずお目通しください。今後とも愛知県柔道整復師会の柔道整復師として、適正業務と適正な請求にて、地域医療に貢献していただきますようお願い申し上げます。

※受療者へ不適切な照会調査が頻繁に実施され、受療の抑制となっています。事例の情報提供も引き続きお願いします。

医科併給による返戻

年度	返戻	再請求		減額	再請求なし
R1	444	378	85%	66	
R2	352	299	84%	53	
R3	502	446	88%	56	
計	1,298	1,123	86%	175	

負傷原因（部位相違を含む）返戻

年度	返戻	再請求		減額	再請求なし
R1	238	197	82%	41	
R2	145	122	84%	23	
R3	44	38	86%	6	
計	427	357	83%	70	

不支給

年度	不支給	審査請求せず		審査請求	棄却	一部認容	認容
R1	313	277	88%	36	33	2	1
R2	367	335	91%	32	30	1	1
R3	338	305	90%	33	31	0	1
計	1,018	917	90%	101	94	3	3

不支給理由

1. 健康保険法第87条（療養費）の規定に該当しないため
2. 患者照会により施術対象外疾患であることが判明したため
3. 医科との併給のため

IT委員会



委員長
松田 吉弘

記憶に新しい「なりすましメール」、被害に遭われた方も少なからずみえたとお聞きます。会館のパソコンも同様に一部被害に遭いました。今後、このような事態を回避するために、会館のセキュリティー対策としてUTMを導入しました。

コンピュータウイルスやハッキングなどの脅威から、コンピューターネットワークを効率的かつ包括的に保護する管理手法です。UTMとは「Unified Threat Management」を略したもので、日本語では「統合脅威管理」あるいは「統合型脅威管理」と呼ばれています。

Zoomを使用したオンライン会議の普及や対面とZoomウェビナーを併用したハイブリッドの研修会に対応できるようWi-Fiについても強化を行いました。

今後も我々を取り巻く環境変化（IT環境）についても対応できるように、社会のトレンドを参考にして必要なモノと取り入れることを検討していきます。我々柔道整復師が社会のトレンドに遅れ、時代錯誤な職業にならないように、またトレンドに振り回されないように、守るべき伝統は守り、必要なモノは取り入れる変化も必要です。

選挙管理委員会



委員長
山本 カヨ子

令和5年定時総会において理事・監事選挙が行われます。公益社団法人における理事・監事選挙に関しては、多くの会員の先生方にご理解されておられると思いますが、今一度説明させていただきます。

公益社団法人 理事・監事選挙は立候補制です。立候補者一人一人に対し承認する選挙です。例えば投票される時、立候補者が定員数よりも多いとしても、一人一人に対して承認する投票ですので、全員を承認していただく事が可能です。そして、当選となるには全会員の過半数以上が投票をし、その投票人数の過半数以上の承認を必要とします。その承認投票数の上位から順に定員数が当選となります。ただし、この時に定員数に満たなかった場合は、選挙不成立となり初めから選挙のやり直しとなります。

今後の業界やご自身のこれからを託す大切な選挙です。期日前投票もできます。ぜひ、会員の先生方にはご理解ご協力をお願いします。

災害対策委員会



委員長

石川 益郎

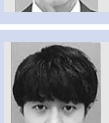
愛整広報第83刊原稿の依頼を受けたのは11月9日、「今年はどんな災害が我が国日本で発生したのだろうか?」と「令和4年 災害」のワードにてネット検索してみた。総務省の災害情報一覧がヒットした。令和4年1月4日「父島近海を震源とする地震による被害」から始まり、11月9日「茨城県南部を震源とする地震による被害」まで、記憶に新しい災害が羅列されていた。その中には、自然災害以外の北朝鮮によるミサイル発射に伴う対応についての項目も…。

ため息をつきながら、次のワード「南海トラフ 2023年 確率」を調べてみた。11月8日付の気象庁の記事がヒット。気象庁は、南海トラフで巨大地震発生の可能性を評価する検討会を開催し、「特段の変化はなかった」と発表した。そうすると『今後30年以内の発生確率は70%~80%』という事になるのか…、南海トラフ地震は最短90年程度で繰り返した記録がある。昭和初期に発生した前回の地震からは80年近く経過し、危機感を十分に持つべき時期にも来ていると思う。

令和4年11月8日（火）、本会と春日井市は「災害時の柔道整復師救護活動に関する協定締結式」を行った。平成20年に名古屋市と同協定を締結してから9市町目である。締結式の際に森川会長が述べられた「骨折・脱臼の応急処置ができるのは医師の他は我々柔道整復師のみである」「運動器の専門家でもある我々は避難所にも運動指導などを行い、エコノミークラス症候群などの予防体操も実施できる」と説明され、石黒 直樹市長は我々に、「医療職」として活躍することに大変な期待をされていると感じた。

災害発生時に医師は、命を最優先とした救護活動をされる。想像力を働かせると、我々

の業務範囲である骨折・脱臼の要救護者の応急処置はかなり後回しになるだろう。その現場にて外傷応急処置を担当、また災害後の避難所にて、その後の処置やエコノミークラス症候群予防体操の実施を担当できればと考えております。

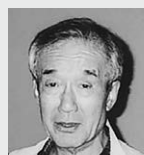
入会日	支部・氏名	施療所名・住所・電話番号・郵便番号
令和4年 5月9日	 大曾根 あんどう たかや 安藤 貴哉	天子田あんどう接骨院 名古屋市守山区天子田三丁目106番地 TEL 052-380-7359 〒463-0037
令和4年 5月27日	 鶴舞 てら お としひこ 寺尾 俊彦	新栄町接骨院 名古屋市中区新栄2丁目5-3 ヒルズ新栄3号館1階(101) TEL 052-228-4221 〒460-0007
令和4年 6月1日	 大曾根 し みず ひろあき 清水 博智	おわりあさひ接骨院 尾張旭市向町2-6-1 サニーハイツ尾張旭102号 TEL 0561-53-7570 〒488-0818
令和4年 7月1日	 熱田 お ぜき たかうみ 尾関 孝海	やぐま接骨院 名古屋市中川区尾頭橋2丁目1番地の27 TEL 052-684-4643 〒454-0012
令和4年 7月1日	 大曾根 ま した じゅんな 間下 純奈	J-style鍼灸接骨院 名古屋市東区葵1丁目21-1 松原ビル2階 TEL 052-908-8823 〒461-0004
令和4年 9月1日	 一宮 の だ しょうじ 野田 昇嗣	あかね接骨院 一宮市三条字山37番4 TEL 0586-59-8125 〒494-0003
令和4年 10月3日	 一宮 なかしま ひろし 中島 浩	なかしまスポーツ接骨院 一宮市千秋町塩尻字新屋敷15番地 TEL 0586-58-5391 〒491-0815
令和4年 10月18日	 中村 いぬい みつ のぶ 乾 光伸	なないろ接骨院 清須市廻間2丁目3-2 TEL 052-908-2990 〒452-0946
令和4年 11月1日	 中村 とよしま たくと 豊島 巧人	いけむら鍼灸接骨院 清須市須ヶ口駅前2丁目63番地 TEL 052-401-2360 〒452-0912

※11月9日理事会承認まで

訃報 慎んでご冥福をお祈りいたします



令和4年9月17日ご逝去
いわい のりお
岩井 則夫 先生
中村支部・享年59



令和4年9月19日ご逝去
ほそがや おさむ
細萱 紀 先生
一宮支部・享年83

第30回全日本マスターズハンドボール記念大会

感謝状贈呈式

令和4年8月5日（金）スカイホール豊田大会議室において、公益財団法人 日本ハンドボール協会 マスターズ専門委員会より感謝状が授与された。本会は2008年（第16回）大会より、全日本マスターズハンドボール大会の会場救護及び外傷予防のテーピングなどを担当しており、本大会にて14年のお付き合いとなっている。

会場救護を終えて

令和4年8月6日（土）～7日（日）第30回全日本マスターズハンドボール記念大会が豊田市にて開催された。本大会は男性40歳以上、女性35歳以上のチームが全国より集結し競技を行う。ちなみに最高齢は男性87歳、女性79歳で、シニアルールにて、80歳以上の男性と70歳以上の女性は「レインボーユニフォーム」を着用し、相手チームからの接触プレーは禁止となっている。試合会場は以下の3会場、スカイホール豊田・豊田市高岡公園体育館・豊田市運動公園体育館であり、岡崎支部（豊田地区）の諸先生方数名に土曜日休療という大変なご無理を言い、大会救護及びリコ

ンディショニングを担当していただいた。テーピング実施総数は126名・応急処置人数は24名。昨年度の一宮大会ではアキレス腱断裂多発であったが、本年度は発生せず持参したシーネ類は未使用に終わった。重傷者は「中手骨骨折疑い」「橈骨頭骨挫傷疑い」の2症例。他、下肢及び肩関節の外傷処置及びリコンディショニングが多かった。これはハンドボールという「走る」「投げる」「接触」という競技特性が物語っている。

また久しぶりに、米田柔整専門学校の学生参加があり、参加者には大会開催数週間前から検温などコロナ感染予防対策を万全に行った上で「スポーツ救護現場」の見学をしていただいた。日整が実施している「匠の技 伝承」プロジェクト然り、米田柔整の学生を前にして今後この業界を牽引して欲しい若い先生方には（当たり前な事だが）外傷が評価でき、それを施術できる業界人になってほしいと切に思いました。また空き時間では永田 和平会員よりアキレス腱についての講義もしていただき、我々会員も共に貴重な勉強をすることができた。

（事業部長 石川 益郎）



柔道整復療養費取り扱い研修会

愛知県柔道整復療養費取り扱い研修会が、6月19日（日）第1部10時から12時まで、第2部13時から15時までの2部制で、本会3階講堂及びZoomで開催された。

第1部62名、第2部17名、合計79名とZoom参加の会員が理解を深めた。

研修会開催にあたり森川 伸治会長は、今回の改定に対し「なかなか胸を張って先生方にご報告するような良い情報がございません、非常に厳しい改定でございます」と厳しい状況を述べ、療養費の減少傾向については、平成23年をピークに、10年間療養費が下がり続けていることを述べられ、「おそらくこういう危機感を持った先生方が多くみえて、『どのような改正・改定だろう』と注視してみえると思います」と挨拶した。

1. 柔道整復師の施術に係る療養費について

藤川 和秀 副会長



「日整の保険部に5期10年、在籍させていただいているが、今年ほど柔整師の要望が厚労省の方に通じなかった時も無かったような気がしております」と始めた。

①療養費の改定について

柔道整復療養費の令和4年度料金改定（案）、来月14日に社会保障審議会の療養費の柔道整復専門検討委員会が開催され決定される。

②柔道整復師の施術所数の推移について

平成24年から令和2年で8,000軒増え、平成23年4,085億円が、10年で1,000億円減っている。約3,000億円が、50,000件を超える接骨院に配分されていると考えられる。それだけ見ても、大変苦しい状況であることは一目瞭然。

③柔道整復療養費の傷病名別の患者割合

骨折、不全骨折、脱臼合わせて0.17%しか扱っていない（打撲、挫傷、捻挫が99.84%）。

日本柔道整復師会の学術教育部も「匠の技伝承」プロジェクトという形で、脱臼・骨折の整復固定に力を上げてやっている。柔道整復師である限りは、脱臼・骨折・不全骨折を見抜いて応急処置をすること「骨が折れたら、あそこの接骨院へ行けばいい」と言われるような形をとっていただきたい。

④令和4年度診療報酬改定について

一切上がらない。

慣例で医科のアップ率の50%が割り当てられる。医科が+0.26%なので柔道整復療養費は、3,000億の予算の0.13%約300億どこから持ってくるのか、往療料の距離加算（4kmを超えた場合）2,700円が、2,550円に150円の減額となった、自分の財布から減らしておいて入れるだけ、だから今回の改定は実質マイナス状態。

⑤明細書発行義務化について

10月1日から、常勤職員が3名以上である施術所で、パソコンで領収書・明細書が発行できる機能を持っている施術所に関しては、明細書発行体制加算（1ヶ月に1回だけ13円）を設ける。

明文化されているのは3名以上だが、1人2人の所も今のところもらえる。東海北陸厚生局に、「パソコンで明細書・領収書が発行できる施術所です、明細書発行体制が整っています」という届け出を出した施術所に13円を加算して良い。

⑥償還払いについて

償還払いへの変更の対象となる事例

1. 自己施術（柔道整復師による自身に対する施術）に係る療養費の請求が行われた柔道整復師である患者
2. 自家施術（柔道整復師による家族に対する施術、柔道整復師による関連施術所の開設者及び従業員に対する施術）を繰り返し受けている患者
3. 保険者等が患者照会を繰り返し行っても回答しない患者

4. 複数の施術所において同部位の施術を重複して受けている患者

⑦オンライン化について

今の段階では、ここ2~3年東京の柔道整復師会と国保中央会等々で一部テストケースとしてやられているというのが現実、一番問題なのは患者さんの署名。オンライン請求になるというのは、まだまだ先。

2. 療養費申請の注意

山口 雅彦 保険部長



①こんな照会があっていいのかの一例（無傷、来院1日で照会された事例）

②5月27日付で「患者照会の一部改正」

施術者にとって良い内容は見当たらない。「領収書と明細書」となり、明細書が付け加えられました。今患者照会の項目は、「領収書は受け取りましたか」という内容。

③違法の広告、違法な看板紹介

こんな広告が出ている限り患者さんの照会調査は無くならない。違法な広告で患者さんを誘引してはいけないことになっている。

④施術費のお知らせ（タカラスタANDARD健康保険組合）

患者さんの所へ組合から届いた支払通知。厚労省へは個人情報塗りを塗りつぶして、提供するつもり。

⑤労災の申請書で記入漏れと間違いの多い箇所の説明

⑥返戻の原因

記号番号、生年月日、資格の期限、資格の喪失が多くあります。保険証の確認だけでもかなり返戻は減らせることができますので、保険証の確認を。

⑦柔道整復療養費の支給の説明

外傷が明らかな、骨折・脱臼・打撲・捻

挫・挫傷であり、内科的疾患によるものは含まれない。いつ、どこで、どこを、どうして、受傷したか、負傷した原因が明確なものだけ扱うことになっている。

⑧再返戻の電話の問い合わせ

返戻の申請書を見せてもらえばすぐに答えられる。FAXで返戻付箋と申請書を見せてもらえば、回答も早いし、説明もしやすい。

3. 柔整業界の近況報告

森川 伸治 会長



柔整においては、柔道整復師の希望者が大幅に減少、学校も柔整科日本第1号の大阪の行岡柔整が閉校、名門校が閉校し始めた。

①国民医療費の推移

国民医療費は平成23年38兆から令和元年44兆まで伸びている、柔整だけが4,085億から3,178億ということで907億落ち、コロナの事を考えたら間違いなく1,000億を超えて大幅に減っている、このような組織は無い。

②柔整療養費・施術所数・就業柔道整復師数・施術所数

2010年には、37,997軒が2020年10年間で50,364軒、すごい数増えている。

③療養費前年比令和元年・2年・3年比

元年と2年で89,000件減、約90,000件落ち、売り上げとしては、愛知県柔道整復師会だけで5億落ちています。そして2年から3年で増えたのは9,565件、約10,000件増えた、残念ながら取扱件数、患者さんの来院日数は減って1,200万円落ちた。非常に厳しいデータが出ている。

本会のデータです。令和4年になってからでも、まだ落ちている。コロナが落ち着いても、これだけ落ちたものが元に戻るの是非常に厳しいのではないかと。

説明をしっかりと、我々柔道整復師をよく理解をしていただくことが、患者様を我々の所に繋ぎ止めるのに、非常に大切になってくるのではないかと。

④厚労省・令和元年10月柔道整復療養費頻度調査

1件当たりの支給額、取扱い単価です。大阪8,268円、東京7,527円、愛知は6,152円ということで、非常に先生方が真面目な申請をしていただいている。ケガの無いものを申請してはダメですけど、損傷部位に外傷症状があれば遠慮なく、しっかりと請求をしていただいても良いのではないかと。

⑤日整・令和3年度柔整療養費 1件当たり平均支給額

昨年度の日本柔道整復師会のデータ（ブロック単位）。全国平均が7,258円、大阪の8,866円、東京の8,317円に対して東海地方が6,615円、レセ1枚当たり全国平均としても1,000円以上安い、当然大阪、東京に比べれば非常に安いことがうかがえる。

⑥協会けんぽ令和2年度事業報告、療養費適正化の推進

令和2年から「負傷箇所3部位以上、かつ月15日以上割合を前年度より抑える」「重要業績評価指標」ということで、全国で指令が出ている。

患者様から発生原因を聴取していただいて、施術録に明確に損傷の発生原因を書いて、損傷状況を記載する。外傷症状を記載して施術内容を明確に書いたものを堂々と2部位でも3部位でもいいから請求をしていただきたい。保険者に対して自信をもって回答できる施術録を記載していただきたい。

⑦令和3年度柔整療養費 3部位・15日以上割合

全国の平均が0.99%（福岡1.37、東京0.92、大阪1.92）ですが、愛知は0.43%と突出して少ない、非常に真面目な請求である。保険者の問い合わせに対して自信をもって回答できる施術録が記載してあれば何ら問題が無いので、堂々との的確に請求をしていただきたい。

⑧柔整業務に於ける通院頻度 令和2年度「骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷」施術期間

捻挫・打撲・挫傷で99.84%、骨折は1,000



人に1人、非常に取扱いが少なくなっている、20年30年前に比べると骨折が減っているのも事実、そういう意味もあって柔道整復師が「骨が接げない、ほねつぎ」から、「包帯が巻けない、ほねつぎ」になっていっている。我々が「骨折・脱臼・不全骨折」を全部やれなくなると、もっと厳しい目で見られる。7月に行います学会の会員発表の後に、「橈骨遠位端の1人整復」というコーナーを設けて、発表していただくことになっている。

⑨第30回柔整国家試験結果

一時の5,000人～7,000人の合格者から、今年は2,740人とかなり合格者も減っている。受験者が大幅に減り4,359名とピーク時の半分以下になってきている。

⑩患者ごとの償還払いへの変更

⑪料金改定の基本的な考え方

「明細書発行体制加算の創設」、布石として1ヶ月に1回13円ですが、“新設をさせる”ということが目標である。

労災料金の改定（要望）について

早ければ8月に改定になる。要望としては、電療料、罨法料、包帯交換量のアップ。根拠は、「物理療法機器の高性能化によって機材の高騰」や「包帯の多様化による材料費の高騰」一応厚労省は受け取ってくれた。「検討させていただきます」ということですから、今進んでいる。

⑫地域包括ケアシステムにおける柔道整復師の訪問ケア参入

数年前から愛知県の方に働きかけをして、何度も何度もお願いをしてきた。先日、初めて愛知県の「福祉局高齢福祉課地域包括ケア認知症対策推進室」の方から答えをいただいた。内容としては、「地域支援事業の対象者及び訪問ケアサービスに対し、柔道整復師を活用することができる」と明記してくれた。

実施については市町村が地域の実情に応じ、活用を図るものであり、県は介護保険法に基づいて市町村が要した経費を交付。これから少しずつ支部長さんや介護担当者の方々と相談しながら市町村を一つずつ回ります。

「訪問ケアサービスを認めていただくと、

非常に大きな収入源になるのではないかなと思っています。少しでも会員の先生方にプラスになればということで働きかけをさせていただいていることを、ご報告をさせていただきます」

(広報部)

第57回愛知県柔道整復学会 第95回会員研修会

7月3日（日）午前10時より正午まで、本会3階講堂にて、第57回愛知県柔道整復学会・第96回会員研修会が開催され、会員185名（会場60名・Zoom125名）が参加した。

藤川副会長の開会の辞に続き、森川 伸治会長が学会長挨拶として「本日は一時的に猛烈な雨が降る、と言う日になってしまいましたが、そんな日にも関わらず、寛学術部長を中心に学術部員の皆様、そして各支部の学術担当の先生方の温かいご協力のもと開催できましたことは感謝しているところであります」と謝意を述べ、「オンラインと会場で合わせて200名近い会員の皆様が傾聴いただいております。本日は4席の発表と、後半の会員研修会は、『匠の技 伝承』プロジェクトで、これは日整の指導のもと10年計画で開催しており、本日はこの愛知県の指導者候補3名の先生のうち2名の先生によって、橈骨遠位端骨折の1人整復法を実演していただき、若い先生方にお手本を示していただくと、まさに学会発表の『学』と、そして『術』を先生方に提供させていただき、限られた時間ではありますが、地域医療に貢献するためにも、しっかりと勉強していただいて、明日の施術に役立てていただきたい」と述べられた。

その後、寛学術部長より、学会の発表時間、質問時間、座長等の説明があり学会が始まった。

第57回愛知県柔道整復学会

1. 肩関節前方脱臼に対する外旋位固定の方法について

～副子とキャスト材を併用した固定法～

山北 陽一 会員（中村）



肩関節前方脱臼に対する保存療法において、従来の内旋位固定と比べ外旋位固定は、再脱臼率を低下させるという報告をもとに、既製の外旋位固定装具等を使用せず、副子とキャスト材を使用し、急性期の疼痛が強い時期にも強固な固定が施せ、なおかつ経過に伴って自宅でも脱着可能な固定を考案した。

2. 腱板修復歴のある肩関節痛に対して制限因子からの施術を試みた一症例

鈴木 正美 会員（半田）



中高年の肩関節痛で、腱板の病変が原因となっている例を踏まえ、鈴木会員が所属する竹内整形外科クリニックでの術後に8ヶ月経過してから、肩関節の外旋時痛と屈曲160度で可動域制限が残存して来院した患者に対して、肩甲上腕関節部での前方偏位を矯正する

ことで、外旋時痛の軽減が確認できたため、下方・後方構成体を、第一の原因と考え、伸張・促通手技を施し、良好な結果が得られた。

3. 自身が負傷したアキレス腱断裂の報告

榎本 雄一郎 会員（笠寺）



榎本会員本人が柔道中に大内刈りを避けようとした際に、右足を高く上げて後方に右足をついた瞬間に受傷。

今回自分自身がアキレス断裂を経験し保存療法を選択して治療に至った経緯を報告。初期にキャスト固定を足関節下垂位で行うことで、断裂部分がしっかり重なることが保存療法を選択できるかのポイントであり、その後アキレスブーツ装具に変更して荷重歩行をしていくことが可能となった。しかし今回は治療に至ったものの、患側の恐怖感や疲労感が残っている原因として、固定期間で下肢の筋力低下が主な原因だと考えられる。次回以降の施術には今回の経験を活かしてより良い結果を求めたい。

4. 仙腸関節捻挫に足指の運動療法が有効であった一症例

中島 正勝 会員（豊橋）



腰部仙腸関節捻挫で施術直後は痛みが軽減するも、翌日には痛みが戻ってしまう難治性

の症例に足部由来の不良姿勢が誘因の一つとして仮定し、タオルを使って会員本人が考案した「タオルde足指トレーニング」と、青竹踏み運動器具を使った運動療法の併用を行ったところ早期に改善した。

仙腸関節は特に片足立位になった際に大きな力を受ける関節として知られており、出産などの理由から女性の方が男性よりも動きやすい構造になっている。今回の症例では足部から施術を考え直すことにより、右足指が地面に触れない浮指に着目した。右浮指により踵荷重の生活スタイルとなっており、歩行、移動、立位で右仙腸関節に前方突の圧力が加わり修復の障害となっていたと推測した。浮指が改善し足裏全体で体を支えられるようになったことで、仙腸関節の負担が軽減し症状が改善したと思われる。

4席の発表後、賞状・記念品授与と、記念撮影が行われ、小林副会長の閉会の辞にて、学会は終了した。



10分の休憩を挟み、続いて11時15分より第96回会員研修会が開催された。

「匠の技 伝承」プロジェクト講演～橈骨遠位端骨折 整復・固定法の実技～と題し、永田 和平会員（岡崎）、林 秀樹会員（豊橋）のお二人に講演いただいた。

開始にあたって森川会長は「現在柔道整復師が、骨折、脱臼の整復をすることがかなり



会員研修会 永田会員・西村会員

少なくなった。骨折は整復しないで整形外科に送りなさい、そう言う指導を学生にしている学校もあるようで、ますます骨折などに関わることが少なくなってくる。そこで日整も推奨している超音波観察装置を使って、せっかく来ていただいた症例ですから、まずは柔道整復師の先生方が自分の目と手で評価していただき、その評価が間違っていないかを、超音波で観察するという目的で回を重ねており、日本の伝統ある『ほねつぎ』を継承するということでもしっかり聞いていっていただきたい」と述べられた。

永田会員がメインで話され、まずは触診し、その後エコーで画像観察して、自分の評価の



確認。その後1人で行う整復を口頭で述べながら実技で細かく説明された。その後患者は寝たままで、固定の工程に入り、一人で行うので実際は全て手元に置いておかなければい



けないが、常に患者の患部のみならず、気持ち悪くないか？など、患者の状態も気にしながら固定完了。その後座位にて三角巾を当てるが、筆者はそこまで気にしたことはなかったが、三角巾の布の縦横の伸び代の方向も確認して懸吊し終了した。

(広報部)

第28回東海4県役員合同協議会

7月3日（日）14時より、本会3階講堂にて藤川 和秀副会長の司会進行により、3年ぶりに第28回東海4県役員合同協議会が行われた。

（第26回・27回はコロナ禍のため中止）

鹿野 道郎東海ブロック会長（岐阜県会長）挨拶の後、森川 伸治本会会長が開会の辞を述べた。各県の役員紹介が行われ、各県保険部長による「各県保険部での諸問題と対策について」を発表された。この発表の諸問題に対して、伊藤 宣人日整保険部長（三重県会長）が回答された後に「保険に関わる諸問題について」と題し、日整保険部の取り組みについて紹介された。



1. 電子請求について
2. マイナンバーによるオンライン資格システムについて
3. 復委任について（請求代行業の廃止について）
4. 令和4年度料金改定対応について
5. 医科との併給問題について
6. 外部委託調査会社の対策について
7. 各県保険取り扱い問題について
8. 今後の接骨院、整骨院の在り方

上記について説明された後に、各県からの質疑応答があり協議会を終えた。

(広報部)



令和4年7月30日（土）～31日（日）第9回柔道医科学研究会が米田柔整専門学校にて開催された。2日目のシンポジウムⅢ「救護課題解決への糸口」において、『柔道整復師による救護活動の歴史と実績』と題して本会森川 伸治会長が演者として登壇された。



本会の救護活動の歴史は、1964年の社団法人認可記念の社会奉仕事業として、海水浴客で賑わう愛知県南知多町篠島に、7月中旬から8月下旬までの夏休み期間中、数年間に亘って「無料施療所」を開設したのが始まりである。

柔道における救護活動にも50年以上の歴史があり、愛知県スポーツ会館での月次試験では柔道整復師である審判員が救護員を兼ねていたが、1993年の愛知県武道館開所後は、本会所属の柔道整復師が中心となり救護を担っている。

また、第1回少年少女柔道大会（1992年・本会主催）の救護を皮切りに、県柔道連盟ほか複数の大会主催者から救護の要望を受けるようになり、県大会以上の柔道大会における本会の救護活動が本格化、近年はコロナ禍の影響により激減しているが、これまで年間平均24大会、140人の救護実績がある。

幅広い診療科のマットドクターの下、柔道整復師が外傷救護を担うことで、外傷以外の幅広い救護が可能となるのではないだろうか」と発表された。

その後、座長 東海大学 宮崎 誠司先生により、長野松代総合病院 スポーツ整形外科 松永 大吾先生、九州医療センター・整形外科 福士 純一先生、日本体育大学 稲川 郁子先生（柔道整復師）、森川会長による「救護の問題点」についてディスカッションが行われた。現場での脱臼整復などの処置をどのようにするか、それに対しての免責問題、柔道整復師の活用について盛んな意見が交わされた。

（広報部）

実技講習

膝前十字靭帯損傷と頸椎損傷の2つのケースを想定し、スクープストレッチャーとスパインボードを使った救護の練習を行った。

膝前十字靭帯損傷では、仰臥位で倒れている負傷者をスパインボードへ固定する方法を練習。膝は疼痛の無い角度を救護者が保持し移動を行った。



次に頸椎損傷では、伏臥位で倒れ意識消失した負傷者を、スクープストレッチャーへ固定する方法を練習した。最初に伏臥位から仰臥位へ3名のログロールにて体位を変換し、Dr把持による頭部固定から頸椎カラーを装着、ヘッドイモビライザーを使用した頭部の固定、そして体幹の固定を行った。これらの練習を参加者全員で役割担当を交代して繰り返し練習した。



最後に講師から「救護はDrだけでなく看護師、PT、柔道整復師らがチームとして行う。その上でそれぞれが与えられた役割を正確に行い、連携して救護活動をすることが大切である」と参加者へ話された。このような機会へ柔道整復師が積極的に参加し必要なスキルを身に付けておくことが、他職種と一緒にチームとして救護活動するために必要なことであると再認識できた。

（半田支部 山田 直樹）

救護講習会

13:30 受付開始

14:00 開会

講義

実技 スパインボードを使用して外傷初期
治療～搬送まで

講師 東海大学 宮崎 誠司医師

実技指導

医療法人社団松本会 松本病院

田邊 誠医師

松本病院 河野、玄田

内容：各部損傷を想定した救護実技練習
(頸髄損傷、膝ACL損傷)

1. 6名によるデモンストレーション実技 披露

講師：医師…田邊、PT…河野、玄田

補助スタッフ：東京オリンピック救護参加
柔整整復師メンバー…稲川、山崎、山田

2. 参加者が3グループに分かれて救護実 技の練習 (スパインボード、スクープ ストレッチャー)

グループ1講師：田邊、稲川

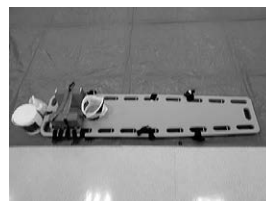
グループ2講師：河野、山崎

グループ3講師：玄田、山田

17:00 終了



スクープストレッチャー (黄)



スパインボード (オレンジ)

黄色がスクープストレッチャーでオレンジ
がスパインボードになります。違いはスクー
プストレッチャーは真ん中で分割ができ、長
さも変えられます。しかし高価です。

第11回公益社団法人愛知県柔道整復師会 少年柔道形競技会

講道館柔道創始者の嘉納 治五郎師範は、
「形」について次のように述べられています。

「形は最も効果的に基本を学びとることがで
き理論的、組織的に体系づけたものであり、
形というのは、あたかも文章に於いて文法のご
ときもので、乱取りは、すなわち作文のご
ときものである」と言われ、柔道の修行者は
形と乱取りの二つを励むべきことを教示した。
形は、いかにして相手を作り、崩し、掛ける
かを予め理論に基づいて組み立ててあるから、
その理論に従って練習しなければ形（かた）
が、形（かたち）に終わって、技の神髄を学
ぶことはできない。また、受もいかにして受
けるかを理に適して練習する必要がある。受
が作られていないのに故意に倒れるようなこ
とでは、形としての価値がないのはもとより、
このような練習をいくらやっても得るところ
はほとんどない。また、形の練習は道場の中
央で行うよう、取、受ともに位置のとり方に
注意し、特に取が先ず正しい位置をとることが
大切である。

令和4年8月28日（日）愛知県武道館にお
いて7支部7組14名の選手（3支部棄権）によ
り、開催延期となっていた少年柔道形競技会
が開催された。

少年柔道形競
技会は、全国大
会も開催される
公益社団法人日
本柔道整復師会
及び公益社団法
人愛知県柔道整
復師会が主催す
る国内唯一の少
年柔道の「形」
競技大会です。



審査員は、全日本柔道連盟公認形審査員資
格を有する本会会員、森 正仁6段、石田 雅
明7段、榎本 好根7段、夫馬 喜久治7段、相
羽 秀昭6段の5名により講道館柔道形競技規
定に則り厳粛、正確に審査した。

コロナ禍により、練習も充分行えなかった
上、緊張もありミスを犯す選手も垣間見えた

中、優勝した半田支部（取・松本 匠平さん、受・久網 暁生さん）は、落ち着いた演武を披露した。

また、準優勝には熱田支部（取・川原 愛叶さん、受・彦坂 虎瑠さん）、3位には岡崎支部（取・作田 海音さん、受・竹本 華乃さん）が入賞した。

ん）が入賞した。

優勝した取・松本匠平さん、受・久網暁生さんは、愛知県代表として令和4年9月18日（日）岐阜県大垣市武道館で開催される第12回東海少年柔道形競技会への出場が決定した。

（柔道部長 中村 太）



優勝 半田支部 取・松本匠平さん、受・久網暁生さん



準優勝 熱田支部 取・川原愛叶さん、受・彦坂虎瑠さん



第3位 岡崎支部 取・作田海音さん、受・竹本華乃さん



第4位 刈谷支部 取・杉江莉子さん、受・杉田絢音さん



第5位 一宮支部 取・桑原大悟さん、受・星川桂汰さん



第6位 鶴舞支部 取・大島廉太郎さん、受・五十川敦己さん



第7位 大曽根支部 取・中村好杏さん、受・笠岡眞三さん

愛知県防災訓練

9月2日（金）「愛知県防災安全局防災部災害対策課」からのメールを受信した。内容は以下の通りである。

『本年9月4日（日）に予定しております「令和4年度愛知県・豊川市総合防災訓練」につきましては、8月下旬からの降雨による会場コンディション不良のため、9月4日の開催を見合わせることにいたしました』愛知県防災訓練中止の連絡である。

本年3月より3回の全体会議に参加し、実施に向けて様々な工夫を練っていたので非常に残念であった。（これで3年連続での中止となる）

訓練当日の朝、7:30には訓練場所である豊川市に到着しようと考えていた心配性のワタシ。もしも当日に高速道路が通行止めになっていたらとか、事故渋滞していたらとか、余分な心配をしたくないために、前泊を考え会場周辺のビジネスホテルを予約していたのだ。中止入電後直ちにネットにてキャンセル手続きを実行するも、既に前日である為に50%のキャンセル料発生…心配性すぎるのも良くないという勉強にもなった。

9月4日（日）は「なごや市民総ぐるみ防災訓練・重点区（西区/熱田区）」も同開催であり、西区防災訓練に参加させていただいた。中村支部より池村 三行支部長・伊藤 貴啓会員・斎藤 祐樹会員が参加され、本会より樋渡 啓祐事業部員が参加した。また別会場で開催された熱田区防災訓練では小林 弘治副会長・小林 茂支部長・水谷 浩会員・白川 恵三会員にご参加いただき訓練を実施した。

西区防災訓練当日、7:40amに山田東中学校に到着し準備開始。体育館内は当然空調も無く、体感湿度は90%超えた。せめてもの救いは、業務用大型扇風機が複数台設置されていたことだ。8:45am西区民の方々が地域ごとに避難して来られ、体育館内ブルーシートに座る。変形性膝関節症を患っておられるであろう高齢者も多く、パイプ椅子などの準備が必要であった事を実感。今後は、事前会議にて市職員への助言も必要だと感じた。

9:10am訓練開始。我々外傷の専門家として本当に行いたかったテーマは「身の回りの物を利用した応急処置法の一案」である。しかし参加者同士の接触・レジ袋を利用した上肢固定を指導した場合のSDGsの観点から考慮すると「避難所に於けるエコノミークラス症候群予防体操」が妥当と考えそれを実施した。30名弱の避難住民を対象に、まずは本会の紹介と「接骨院とは」の簡単なレクチャー。次に、エコノミークラス症候群の解説。そして実際の予防体操の順にお話をさせていただいた。20分を1クールとして、地域住民参加者が団体で、それぞれのブースを回るスタイル。それを3クール実施した。住民が入り替わるタイミングにて、パイプ椅子の消毒を行う。そして講習時間が余った際は、樋渡事業部員が質疑応答コーナーを咄嗟に作り、ゴリゴリ攻めて時間不足は一度もなかった。参加住民の中には、今回の防災訓練指定地域でご開業されておられる医師も参加されており、激励も頂き訓練を無事に終了した。

（事業部長 石川 益郎）



第19回柔整師杯東海少年柔道大会 第12回東海少年柔道形競技会

令和4年9月18日（日）岐阜県大垣市武道館にて上記大会が開催された。



愛知県選抜団体の選手は、先鋒 岩澤 斗成さん（山北道場）、次鋒 吉田 唯良さん（山北道場）、中堅 梶田 陽生さん（瀬戸柔道会）、副将 彦坂 虎瑠さん（県武道場）、大将 宮城 琥我朗さん（羽田野道場）の5名。監督は、大曾根支部 中村 太7段。



女子団体（3人戦）の選手は、先鋒 安江 美乃さん（羽田野道場）、次鋒 嶋田 綾乃さん（羽田野道場）、大将 柴田 麻帆さん（羽田野道場）の3名。監督は、大曾根支部 榎本 好根7段。

結果、選抜団体戦は4位、女子団体戦は、三重県との代表戦を制し2位に入賞した。



また、同日開催された東海少年柔道形競技会は、（取）松本 匠平さん、（受）久網 昉生さん、監督、半田支部 月野 義明6段が出場した。結果は、3位入賞し11月20日 講道館開催の日整全国少年柔道形競技会出場を決めた。

（柔道部長 中村 太）



試合結果は下記の通り

【選抜団体戦】

優勝岐阜県 2位静岡県 3位三重県 4位愛知県

【女子団体戦】

優勝静岡県 2位愛知県 3位三重県 4位岐阜県

【形競技会】

優勝静岡県 2位岐阜県 3位愛知県 4位三重県

日整第55回東海学術大会 岐阜大会

日整第55回東海学術大会岐阜大会が令和4年10月22・23日（土・日）の2日に渡り、岐阜駅近くの柳瀬地区西に位置しているホテルグランヴェール岐山において開催された。近くに岐阜城を望む絶好の環境であった。今回は日整の東京オリンピックへの救護事業参加やコロナ禍における全国的に集会を伴う事業の中止や延期に伴い、例年行われてきた東海学術大会も2年延期され3年ぶりの開催となった。

当初の計画では名古屋駅前の「ウインクあいち」での開催が予定されていたが、コロナ感染症の対応にて規模縮小を余儀なくされ、開催運営も会場での対面方式とZoomによるオンラインでの参加のハイブリッド開催となり、次々に変わる計画の変更や新規の開催方法の策定に対する岐阜県社団の対応のご苦労には頭が下がる思いであった。

学術大会は、22日に開会式及び新しく日整会長になられた伊藤 述史会長の挨拶を皮切りに、現在、日整の学術教育部長になられた

愛知県の森川 伸治会長による「学術教育部からの指針（お願い）と題し「匠の技伝承プロジェクトと日整学術大会」について講演が行われた。

2日目の23日 9時30分から2階カルチャーホールにて各県の推薦発表4題の他、米田病院、服部整形外科から1題ずつの2題、計6題の会員研究発表が行われた。また同じ時刻、5階会場にてエコー観察のワークショップが行われた。

2階ロビーでは9時から12時45分まで展示会も開催された。ホールエントランスで行われたため、通りすがりに見学ができにぎやかなものとなった。

2階では会員研究発表に続き、特別講演として講師：岐阜市民病院産婦人科・婦人科腫瘍部長豊木 廣先生により「産婦人科 女性との関わり」～ゆりかごから墓場まで～と題し、講演が行われた。

2時15分からは会員研究発表者への表彰式が行われた後、12時30分から閉会式が行われ、

すべての行事が終了し閉会となった。

今回はまだまだ終息に至らないコロナ禍においての開催にて、対面方式においても参加人数の削減に伴い、会場での参加は少数となった。現在の状況での開催に学会大会を続けることの難しさを感じる大会となったが、継続していくことが重要であることも改めて感じさせる大会となった。

(学術部長 笥 芳幸)



第31回文部科学大臣杯争奪 日整全国少年柔道大会

令和4年11月20日（日）講道館において第31回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会及び、第12回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道形競技会が開催されました。昨年度はコロナ禍のため無観客で開催されましたが、今大会は選手1名につき保護者1名が観覧席への入場が可能となり、久しぶりに賑やかな大会となりました。



講道館大道場

少年柔道大会愛知県チームは、先鋒 岩澤斗成さん（山北道場）、次鋒 吉田 唯良さん（山北道場）、中堅 吉田 空雅さん（大石道

場）、副将 彦坂 虎瑠さん（県武道場）、大将 宮城 琥我朗さん（羽田野道場）の選手5名と監督 中村 太7段（大曽根支部）、コーチ 榎本 好根7段（大曽根支部）で参加しました。



試合開始整列



6階道場にて



先鋒の岩澤 斗成さん（山北道場）



次鋒の吉田 唯良さん（山北道場）



中堅の吉田 空雅さん（大石道場）



副将の彦坂 虎瑠さん（県武道場）



大将の宮城 琥我朗さん（羽田野道場）

試合結果は、第3位入賞の広島県と初戦対戦し1対0にて惜しくも敗れましたが、選手たちの試合に挑む姿勢、態度が評価されフェアプレー賞を頂きました。

全国大会の雰囲気になんとか緊張気味の選手たちでしたが、それぞれ持てる力を精一杯発揮し悔いの残らない試合内容であったと思います。また、今大会が選手たちの心の1ページに刻み込まれ、今後の柔道や学校生活に活かされる事を願います。

【大会結果】

日整全国少年柔道大会

優 勝 三重県

準優勝 長崎県

第3位 宮崎県

第3位 広島県

フェアプレー賞 愛知県

（柔道部長 中村 太）





半田支部
月野 義明

令和4年11月20日（日）講道館にて行われた、第12回文部科学大臣杯争奪「日整全国少年柔道形競技会」へ参加させていただきました。

今回の愛知県代表ペアは、昨年に続き二度目の大会参加、昨年は予選リーグ敗退でしたので、今年こそはリーグ突破、上位入賞を目指して練習に練習を重ね、万全を期して競技会に臨みました。

午前中は日整全国少年柔道大会、全国柔整師高段者大会が行われ、午後より少年形競技会が開催されました。

少年柔道大会と少年形競技会は、完全入れ替えで行われ、感染対策がされる中14時より監督会議、その後リーグ予選が4会場にて行

われました。愛知県チームは、Bブロック7チーム中6番目の演武です。同ブロックに昨年の優勝チーム兵庫県がいます。兵庫県ペアは4番目の演武。各チーム演武を終了後直ちに点数が掲示されます。

兵庫県ペアはスピード、切れに迫力があり高得点を出しました。愛知県ペアも今までで一番の演武を披露しましたが、力及ばず予選敗退となりました。

愛知県ペアにはこの経験と何よりも今まで形の稽古を一生懸命に行ってきたこと、指導していただいた先生方、愛知県代表として送り出していただいた愛知県柔道整復師会の先生方に感謝して、これからも精進していききたいと思います。

私も競技後、悔しそうにしている教え子たちを見て、この気持ちを忘れずに今後も指導していきたいと思いました。

愛知県代表として前日より派遣していただいた（公社）愛知県柔道整復師会森川会長、中村柔道部長始め役員の先生方、誠にありがとうございました。